

令和3年1月20日

HIRATSUKA KYOUKAIHOU

No.264

平塚協会報

発行所：公益社団法人 神奈川労働安全衛生協会 平塚支部
発行責任者：小山 祐司



新年を迎えて

(公社)神奈川労働安全衛生協会
平塚支部
支部長 市川 重行
〈古河電気工業(株) 平塚事業所〉



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素より当協会の運営、各種事業に対するご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。また、平塚労働基準監督署をはじめ、関係官庁、諸団体ならびに会員事業場の皆様のご協力により、令和2年度の事業計画を進めて来られましたことにつきまして、重ねて御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの猛威は収まらず、世界における感染者数は本稿執筆現在で6,300万人を超え、尚増加傾向にあります。一方、米英中露等でワクチンの開発が急ピッチで進み、その効果は高いと評価されています。世界が新型コロナウイルス蔓延以前の状態に戻るには、差別なく世界中にワクチンが配給されなければなりません。まずは、安価で取り扱いが容易なワクチンの早期完成に期待したいと思います。

労働環境に目を向けますと、令和元年6月5日に女性の職業生活における活躍の推進等に関する法律等の一部を改正する法律が公布され、労働施策総合推進法、男女雇用機会均等法及び育児・介護休業法が改正されました。この改正により、職場におけるパワーハラスメント防止のために、雇用管理上必要な措置を講じることが事業主の義務となります。上司、同僚、部下をはじめ取引を行うパートナー会社と仕事をしていく中で、関わる人たちを尊重し、ハラスメントのない環境を作っていかなければなりません。一方、新型コロナウイルス感染防止の観点から、オンライン会議等の活用によりテレワークが進み、働き方が大きく変わってきています。テレワークにより、企業内の人間関係が希薄になるとの懸念もありますが、企業によっては本社機能や従業員を地方に移し、働く環境だけではなく、生活環境そのものを根本的に変えていこうとする会社も現れてきます。豊かな自然環境に包まれ、ゆとりを持った心からは、ハラスメントは起きないかもしれません。

私達を取り巻く労働環境は、大きな事象が発生した場合には、よりスピーディに、より安全に健康に向かおうとします。平塚支部としましても、いろいろな機会を通じて、遅れることなく皆様に情報を提供してまいりますので、本年もご理解ご支援の程、何卒宜しくお願い致します。

結びに、会員事業場の皆様のご発展とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

平塚労働基準監督署

署長 平本 賢一

新年あけましておめでとうございます。

旧年中、(公社)神奈川労務安全衛生協会平塚支部及び会員事業場の皆様方には労働災害の防止を始めとした労働基準行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございました。今年も引き続きよろしく願いいたします。

さて、昨年を振り返りますと、まさに新型コロナウイルスに翻弄された一年であり、現在もまだ、感染の拡大防止と社会、経済活動の維持、発展の両立という難題に、国全体で取り組んでいる状況が続いております。

そのような状況の中でも、労働基準行政の課題は山積みとなっております。主な課題としましては、「コロナ感染症対策の影響に係る各種支援」、「働き方改革の推進」、「高年齢労働者に配慮した労働安全衛生対策」、「雇用形態に関わらない公正な待遇の確保」、「最低賃金の周知と履行の確保」、「病気の治療と仕事の両立支援」、「精神障害に係る的確な労災保険の認定」などで、いずれの項目も皆様の職業生活にとって重要な事柄であるため、コロナ対策を踏まえることはもちろんのこととして、これらの課題にも継続的に、様々な角度から取り組んでまいりたいと考えております。

皆様方におかれましても、コロナ対策とともに、こ

れまで皆様方が毎年取り組み、そして磨き上げてこられた労働災害防止活動に引き続き取り組んでいかれるものと思います。

今後とも貴支部と協力しつつ、コロナ環境下における労働災害の減少に向けて、しっかりと進んでまいりたいと考えておりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

本年は、1月1日から、改正された「育児・介護休業法施行規則」等が施行されました。「子の看護休暇・介護休暇の時間単位取得」が可能となっております。また、4月1日からは、改正された「特定化学物質障害予防規則」の施行が予定されており、金属アーク溶接における「溶接ヒューム」が特定化学物質となることを踏まえた対処をする必要がございます。

1年前には考えられないぐらい社会環境は変化しており、それに応じた手法を選ぶ必要はございますが、「命を守る」という目的に変わりはございません。

苦しい状況ではございますが、目的を同じくする貴支部と会員事業場の皆様方と協力し合いながら進んでまいりたいと思っております。

最後になりましたが、平塚支部及び会員事業場にとって幸多き1年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

令和3年 年間標語

健康と安全作業を積み重ね 築くゼロ災 みんなの誇り

安全衛生祈願

令和3年1月8日(金)、当協会の年頭恒例行事である安全衛生祈願が、秦野市の出雲大社相模分祠で行われました。

前日、神奈川県をはじめ1都3県に『緊急事態宣言』が発出され、当日が対象期間初日となりました。

不要不急の外出は控えなければなりません、安全最優先の思いを大神様にご祈願するために、市川支部長はじめ会員事業所20社の方々、平塚労働基準監督署の平本署長、当協会専任講師の三瓶様が参加されました。拝殿内では宮司様の祈願、巫女による舞、支部長、副支部長、部会長及び平本署長による玉串奉奠を執り行い、参加者全員で今年1年の安全、健康及び新型コロナウイルスの感染早期終息を祈願しました。

例年は、安全衛生祈願後、経営首脳者セミナーが開催され、行政講演として労働基準監督署からのお話し、特別講演としてお招きしたプレゼンターからのお話があり、その

後、講演者を含めた皆様との懇談会が開かれるのですが、「来年は開催したいですね」「早くコロナが治まらないとなにもできないよ」などと話しながら、散会となりました。

富士フイルムワコーケミカル(株) 矢作 記



— KYT (危険予知訓練) 入門コース研修開催される —

令和2年10月28日(水)平塚勤労会館にて23名の受講者を迎えKYT入門コース研修が開催されました。

研修の冒頭に今回の講師を務めて頂いた三瓶KYTインストラクターより、労働災害の推移や現状に関するお話がありました。死亡災害は年々減少傾向にありますが休業災害は平成21年を境に増加しており、そして平成30年には労働災害が交通事故災害を上回ってしまったという事で、各企業には災害ゼロに向けた取り組みが益々重要になっているとのお話でした。

KYTは労働災害ゼロを目指す手段として有効性が高く評価されており、多くの企業で展開されています。今回の研修はKYTの意味や目的をキチンと理解し、各社各職場で実践出来る様にする事が目的です。その為に4ラウンド法やワンポイントKYT、一人KYT等の事項を講義にて学習すると共にグループ討議にも多くの時間を割いていました。この研修で学んだ事を各社へ持ち帰り労働災害ゼロに向けた更なる活動に生かして欲しいと思います。尚、事務

局の皆様はコロナ感染予防に十分な対策を取っておられました。対応ありがとうございました。

株式会社KELK 西久保 記



アイデアは無限！

古河電気工業(株) 平塚事業所衛生管理室 眞壁 亜紀子

新年あけましておめでとうございます。偶然にも、3年連続でこの時期に執筆です。昨年も一昨年も、その前年を振り返り、「今年こそは穏やかな年に」、「今年こそは喜びの多い年に」と願いを書いていました。ということで、今年もまずは前年を振り返ります。

残念ながら、昨年も辛い一年でした。新型コロナウイルス感染症拡大の影響、そう、コロナ禍です。

近年続く自然災害に苦しんでいるところにコロナ禍・・・日本は、世界は、どうなるのか？今なお不安な日々を過ごしている人がほとんどでしょう。私も同じです。しかし、こんな状況でも、アイデアで前向きに、楽しんで生活している人も多いことに驚き、関心しました。外出制限でデ

ズニーランドに行けなければ“お家ディズニー”、回転寿司に行けなければ“プラレールで回転寿司”などいわゆる“お家〇〇”。その他、マスクが足りなければ有る物で手作りしたり、飲み会ができなければオンライン飲み会にしたり・・・いやいや、お見事です。これらは今や、商品・商売に発展したり、更に進化した方法になったりしています。

“ピンチはチャンス”という言葉がありますが、このコロナ禍で改めて痛感しました。ヒントは、意外と身近な日常生活の中に潜んでいるようです。そこで、今回は私の今年の目標を書いて締めます。「アイデアは無限！日々の生活にもっと興味・関心を持って生活しよう！」

雑感

『ウィズコロナ』

横浜ゴム株式会社 平塚製造所 安全環境課 宮崎 洋輔

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、働き方が大きく変化しました。在宅テレワークが増加し、WEB会議やグループ通話など、オンラインによるコミュニケーションが標準的な方法になってきています。身の回りでも、オンライン飲み会に、オンラインコンサート、オンライン旅行など、オンラインで行われる活動が増えています。「初詣」もその一つ。政府の分科会でも感染対策のガイドラインが示され、「分散参拝」として日程の分散や手を清める際に使う柄杓の撤去などだけでなく、御利益の程は不明ですが、お賽銭のキャッシュレス決済や、お守りやお札の「オンライン授与所」、「オンライン参拝」など神社によって様々な工夫がされています。

訪れる神社は毎年同じではないですが、初詣に行った際は、鳥居前で一礼して参道の端を通して入り、手水舎で手

と口を清め参拝(二礼二拍手一礼)した後、おみくじを引いて帰るのが、私の習慣になっています。参拝の際のお賽銭は、学生時代は「ご縁がありますように」と5円(1枚)でしたが、社会人になってからは、「十分にご縁がありますように」と、10円玉は「遠縁(10円)=ご縁を遠ざけてしまう」という事で15円ではなく、105円を入れ、住所・氏名、昨年のお礼と願いを言うように心掛けています。

今年は「コロナ禍が収束し、元通りの生活が出来ますように」と多くの人が願いをしたのではないかと思います。現在、ワクチンや治療薬の開発が進んでいる報道もありますが、一刻も早くこの願いが叶い、新型コロナウイルスが、インフルエンザや風邪の様にどこの病院でも治療ができる病気の1つになる日まで、極力、3密(密閉、密集、密接)を避け、新しい生活様式を守っていききたい。

転倒 災害防止講演会

令和2年9月24日(木)、14時より平塚市勤労会館2F中会議室にて、安全部会主催による「転倒災害防止講演会」が開催されました。

コロナ対策のため参加24名とソーシャルディスタンスの取られた講演となりました。講演は2部構成となっており、1部は平塚労働基準監督署、高橋安全衛生課長様より神奈川管内、平塚管内での災害発生状況と災害事例や転倒災害防止を進めるうえでの問題点などを講義して頂きました。中でも大事だと感じた所は「職場環境改善には限りがあるので、労働者の行動によるリスク低減に努める必要がある」との事で、自社での安全衛生教育を進めていく事も重要と感じました。

2部は日本転倒予防学会、転倒予防指導士、石川雅夫先生による転倒予防教育の講義をして頂きました。なにより

も驚いたのは転倒・転落災害は交通事故の3倍も死亡事故が発生している事でした。また、「転びやすい人はどんな人」自分が当てはまっているかのチェックや、「転ばないために出来る運動」など実技も取り入れながら有意義な時間が過ぎて行きました。翌日の朝から講義で学んだ「朝のストレッチ」を取り入れて、体調管理バッチリで持病の腰痛も影を潜めています。皆さんも如何ですか。

(株)コベルコ マテリアル銅管 小山 記



編集後記

新年、あけましておめでとうございます。

本年が皆様にとって良い年であることをお祈り申し上げます。

昨年を振り返りますと、自然災害(豪雨、台風、地震)も各所で見られましたが、やはり新型コロナウイルスの世界感染拡大ではないでしょうか! 渡航禁止、外出自粛

要請、飲食店の営業時間短縮、イベント収容人数制限など、多くの対策をとっておりますが、今だ収束には至らず、再拡大の傾向となっております。「神様は、乗り越えられる試練しか与えないよ」と、以前聞いた覚えがありますが世界全体の「試練」がコロナウイルスなのでしょう。感染を防ぐ手段の3密を控える事やフィジカルディスタンスなど、人と距離をとる事が、こんなにも寂しいと感じているのは私だけでしょうか。試練を早く乗り越え、一日も早く、穏やかな日々が訪れる事を祈っております。

日鍛バルブ株式会社 遠藤 記